

# 卒園記念に贈る

## 「木陰の物語」愛蔵特別版。



卒園記念の贈りものに、「木陰の物語」の本を贈りませんか？

卒園は子どもたちが無事に成長を遂げた証でもあります、

同時に、お父さんお母さんの、

たくさんの頑張りが実った瞬間でもあると思うのです。

ぜひ、「家族」に贈るプレゼントで、お祝いしてあげてください。



### わが子が小学校に上がる前に読みたい『木陰の物語』

学齢期のお子さんを持つ親御さんや送り出す側である先生に特に人気の高い作品、この時期に繰り返し読んでいただきたい作品を集めています。コマ割りを施した漫画形式で読み進めやすい仕様、大切にずっと置いておきたくなる装丁となっています。

【著者】 団 士郎 【仕様】 四六判 ソフトカバー 168頁

【価格】 1,500円+税 → **卒園記念特別価格 1,200円+税**

- 贈り主からのメッセージを添えた**オリジナルしおり**注文できます(別途有料)。
- **10冊以上**からの注文となります。**送料無料**。
- ご希望の納品希望日時があれば合わせてご連絡ください。

#### 【収録作品】

好きになる力・さあ、もういっぺん・自転車泥棒・歩道で・付き添い・循環バス・小雨の行列・魚の捕り方・扉・できるワナ・自立心・夫婦じゃなくて両親で・勝敗・眼差しと一言・聞けない・その、チカラ・駅・洞中の人に・雪道・覚悟、の計20作

#### 申込方法

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

##### ▶ MAILの場合

[info@honblock.net](mailto:info@honblock.net) 宛に

下記を記載のうえ送信ください。

件名 卒園記念購入申込

本文 お名前(団体名・ご担当者名)/郵便番号/  
ご住所/お電話番号/申込冊数/納品希望日

##### ▶ FAXの場合

右記を記載し、FAXにてそのまま送信ください。

#### お届けまでの流れ

ホンブロックから受付確認お届けに関するお知らせをご連絡いたします。1週間以内に連絡がない場合は、未着の可能性がございますので、再度ご連絡をお願いします。

QRコード		FAX	<b>03-3226-2572</b>
		MAIL	<b>info@honblock.net</b>

#### お申込記入欄

お名前			
郵便番号 ご住所 (都道府県名から)	〒		
お電話番号			
申込冊数	<input type="text"/>	冊	納品希望日
			年 月 日

次のページは「木陰の物語」を読んで寄せられた、反響・ご感想の声を紹介しています





# 「木陰の物語」を読んだ方の 反響・ご感想を紹介します



まだ先の話とは思いつつも、毎日子どもの接し方について考えさせられます。

ワクワクするような楽しみではないが、毎回何か大切なことが書いてあるなあ、というのは感じる。

いつもつぶやきというかホッとさせられる文面に癒されます。子育て中だとイライラしたりしてしまうので、どうにも思い通りにいかないことが多くても「大丈夫なんだよ」と言ってもらっているような気がして、ホッとします。

直接、言葉で表現しているのではなく、読んで少し経つと「ああ、そういうことか…」と心に入ってくる。心に入ってくるまでに少し時間がかかることも私の場合はあるのですが、いずれにせよなるほど、とおだやかな気持ちになります。今度のお話は、どんな話かな、と毎回楽しみにしています。

なるほど！と思うことと、そうかな？と思うことがあるが、そのことについて考えるきっかけになるので、それでいいと思う。

どちらかと言えば現在より将来こんなことが起きたら…のために頭に入れておこうと思い熱心に読んでいます。もうすぐ卒業するので毎月の園だよりで「木陰の物語」が読めなくなることが残念です。

実は当初は、正直絵も女性向きでない可愛らしいとは遠い感じですし、読まずにいたこともありました。ある時、ふとじっくり読むと、涙を抑えるほど感動してしまいました。とってもいい内容、教えでした。たった1枚の紙で、奥深いお話、大好きです。

決して他人事ではなく、いつ自分がそうなるかわからない危うさを感じました。日々悩み、迷いながら子育てをしている私にとって参考になることがたくさんあります。

妻に薦められて読みました。「親にとってわが子だけは、何度もチャンスを持った特別な存在である」。何度も読み返しています。親の私が必要以上にくじけてはならないのだと思いました。

無理やり結論つけてまとめようとしなくていいところ、説教じみた終わり方でなく、著者の目線でしみじみと語っているところが好きです。

家族のきずなの大切さともろさを身をもって教えられました。イラスト入りでわかりやすい話の展開に引き込まれ、読み終わると一本の映画を見て何かを感じた時のような体験をしました。

共感できる内容が多くて、ほろっときます。親になって、自分の両親のあの当時の不可解な言動も今となっては理解できます。それを思い出させてくれる。

直接、言葉で表現しているのではなく、少し経つと「ああ、そういうことか…」と心に入ってくる。時間がかかっても、いずれにせよなるほど、とおだやかな気持ちになります。

日常のなにげない1シーン、1コマから、とても深い、そして優しいまなざしを向けてくれます。それでいて、筋が通っている。人は誰もが同じようでは違い、強いようでは脆いところがあり、美しい。勇気づけられる作品です。ずっと心に入ってきます。

物語に触れることで、様々な家族のあり方や考え方に出会えます。

けれど、答えはありません。

「木陰の物語」があなた視野を広げ、困った時の味方となりますように。

また、ご家庭や職場で対話を深めるきっかけとなることを願っています。

